

概要

大工・左官など建築に携わる職人による、伝統工法・伝統建築への理解の促進と普及啓発を図るため、建築関係団体を中心とした各種団体と行政が一体となって「伝統建築フェア」を開催し、伝統技術のPR等を行っている。

背景

鳥取県では近年、新建材やプレカット工法等の普及により、大工職人、左官職人の減少・高齢化が進んでおり、伝統的な木造軸組住宅に関する高度な技術・技能の継承が困難な状況になりつつある。

このような状況を踏まえ、鳥取県では、平成16年度に職人による伝統技術に関する検討委員会を開催。同検討会が実施したアンケート調査において、伝統技術のPR等が最重要課題と指摘されたことを受け、伝統技術への理解を深め、その活用を促進する観点から、平成17年度より「伝統建築フェア」を開催している。

伝統建築フェア

1. 概要

大工・左官など建築に携わる職人による伝統技術を間近に見て、触れて、学び、継承する機会・場を設け、伝統工法への理解の促進と普及啓発を図るため、「伝統建築のPRと各職人間の連携」をテーマに、建築関係団体を中心とした各種団体が一体となって「伝統建築フェア」を開催している。

2. 内容

体験型イベント

伝統工法家づくり体験、継手・仕口チャレンジ、左官壁塗り体験、ミニ畳製作体験、建具工作体験、板金へらしぼり、建築士による住まいの相談受付

展示型イベント

金物を一切使用しない木造軸組み実物大模型、継手・仕口模型、技能五輪作品、鏝絵（こてえ）作品、木製建具、板金作品

その他

古式上棟式（オープニングセレモニー）、仏師実演、地域特産品販売 等



【左官塗り壁体験】



【住まいの無料相談会】

3. 開催期間

第1回：平成17年10月1日～30日

第2回：平成18年10月7日～19日

4. 活用制度

地域住宅交付金（提案事業）
…伝統建築フェア運営費補助

実績・評価

【実績】

平成17年度（第1回伝統建築フェア）

…来場者数：5,882人

平成18年度（第2回伝統建築フェア）

…来場者数：5,005人

【評価】

伝統建築フェアには若者男女問わず多くの県民が来場し、好意的に受けとめられた。

また、参加した職人については、フェアの開催を通じて業種間の交流が進み、お互いが連携して取り組んだことにより、伝統技術のPRの必要性の高さがあらためて認識された。

今後は、伝統技術に携わる職種は多く、造園・石材業などの他の団体にも参加を促し、連携の範囲を広げていく必要がある。

関連部局・連携のポイント

【関連部局】

担当部局	生活環境部 住宅政策課
関連部局	生活環境部 景観まちづくり課 商工労働部 労働雇用課 農林水産部 林政課 総務部 管財課

【連携のポイント】

伝統建築フェアの開催に当たっては、関係団体等からなる実行委員会・運営委員会に景観まちづくり課、労働雇用課、林政課、管財課も参画して検討を行ったほか、住宅相談・住情報提供及び木造住宅の普及・担い手育成を地域住宅計画に位置づけることにより、運営費に地域住宅交付金を活用することができた。

問い合わせ先 & 関連HP

【問い合わせ先】

生活環境部 住宅政策課

0857-26-7408

【関連HP】

県HP

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=17684>

